

# Green Spirits



して2011年には、地域と協働で被災者支援も行ってきました。

BICSでの活動ではバーチャル

文京学院大学は、開学以来「実学」を教育の基盤として専門職業人養成を行ってきました。「自立と共生」の教育理念のもと、

社会における実体験を通して「実学」に力を注いできました。いまなぜ、実学や実体験が必要か。大学のユニバーサル化によって明確な志望動機を持って入学し、実体験に能動的に取り組み一方で、自己肯定感・社会的技能の未熟な学生の二極化現象が現れてきました。様々な課題に直面した時、問題解決に向かわず、簡単にドロップアウトしてしまう傾向もあります。

## 理論と実学の融合 綿 祐二 BICS センター長／人間学部教授

これらの経験を通して、本物の経営者に出会い、自ら起業した学生や専門職としてのイメージを確立した学生もいます。中には、BICS教育プログラムで出会った地域の人とNPOを設立し、地域の障害児者とその家族とともにサッカーのJ1リーグの公式ユニホームのクリーニングの仕事を確立した学生もいます。

夢を夢で終わらせない。そんな力強さを身につけていくこと、本物になること。これはきっと「地域をもうひとつのキャンパス」としている学生だからできる業であると信じています。

その数が2011年で2学部7学科、延べ1000名を超えました。地域で本物を学ぶ。

がんばれ、夢追い人、文京学院生！

ふじみ野キャンパスでは、2005年に地域連携センターBICSが開設され、地域との協働で高齢者、障害児者、児童、地域在住外国人を対象とした11教育プログラムと2つのボランティア支援プログラムを立ち上げました。そ